

危機管理会議

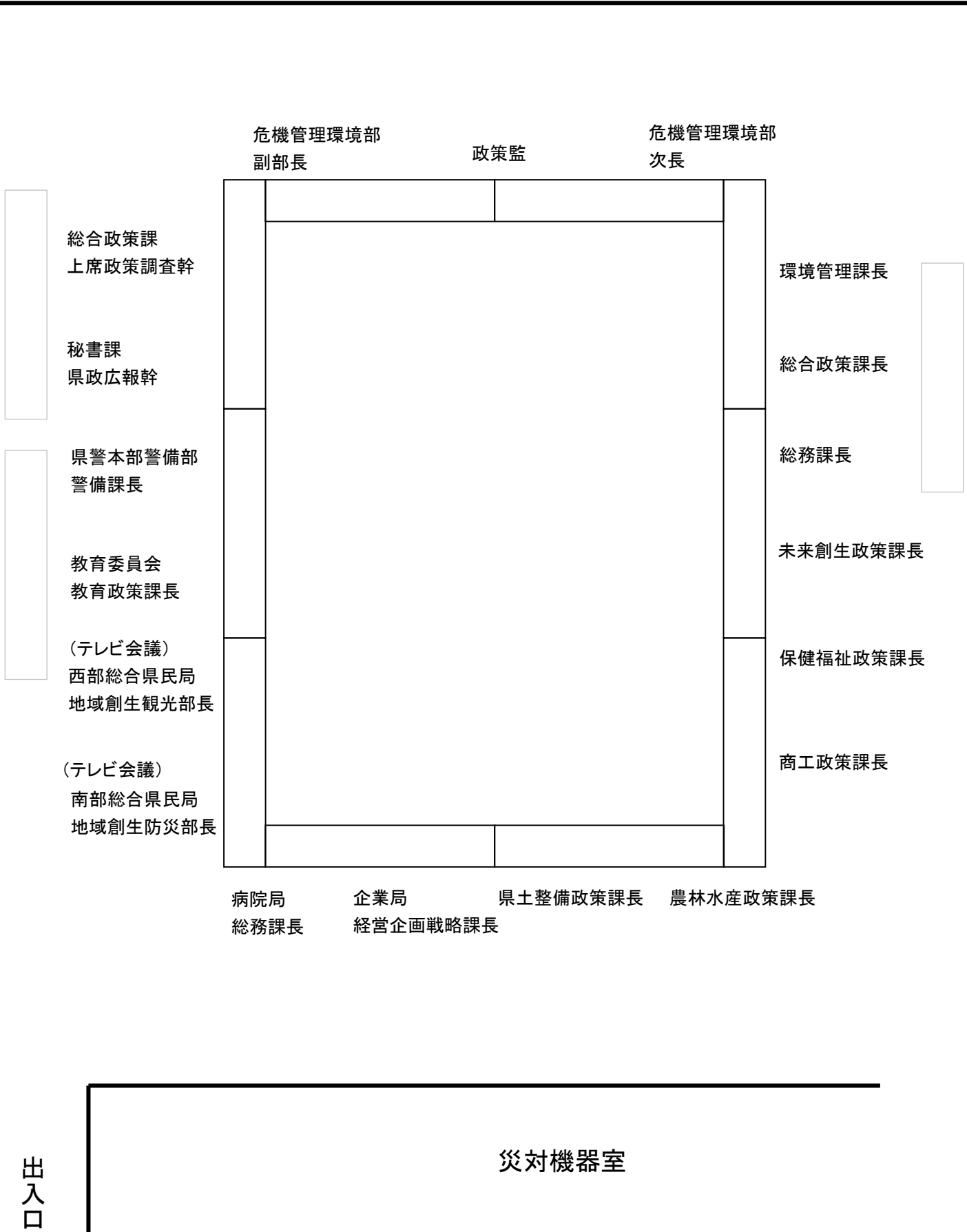
日 時 : 令和5年4月13日(木) 10:00 から

場 所 : 県庁4階 405会議室

協議事項

北朝鮮による弾道ミサイル発射に係る対応について

危機管理会議 配席図



令和5年における北朝鮮によるミサイル発射事案の経過

年	月日	概要
2023年 (令和5年)	1月1日 ①	1日2時50分頃、北朝鮮西岸付近から、1発の弾道ミサイルを東方向に発射し、最高高度約100km程度で、約350km程度飛翔し、朝鮮半島東岸付近の我が国の排他的経済水域 (EEZ) 外に落下したと推定。
	2月18日 ②	18日17時21分頃、平壤近郊から、1発のICBM級弾道ミサイルを、東方向に発射し、約66分飛翔し、18時27分頃、北海道の渡島(おしま)大島の西方約200km、日本海の我が国の排他的経済水域 (EEZ) 内に落下したものと推定。飛翔距離は約900km、また最高高度は約5,700km程度と推定。
	2月20日 ③	20日7時頃、北朝鮮西岸付近から、2発の弾道ミサイルを東方向に向けて発射し、朝鮮半島東側の日本海、我が国の排他的経済水域 (EEZ) 外に落下したと推定。 ① 6時59分頃発射し、最高高度約100km程度で、約400km程度飛翔。 ② 7時10分頃発射し、最高高度約50km程度で、約350km程度飛翔。
	2月23日 ④	北朝鮮は、戦略巡航ミサイル「ファサル2型」4発を日本海に向けて発射する訓練を行ったと発表。
	3月9日 ⑤	韓国軍によると、北朝鮮は、9日午後6時20分頃、西部のナンポ(南浦)付近から朝鮮半島西側の黄海に向けて短距離弾道ミサイルを発射した。
	3月12日 ⑥	韓国軍によると、北朝鮮は、12日朝、東部のシンポ(新浦)付近の海上の潜水艦からミサイルを発射した。北朝鮮は、戦略巡航ミサイルについて、初めて、潜水艦から発射したと発表した。
	3月14日 ⑦	韓国軍によると、北朝鮮は、14日7時41分頃から51分頃にかけて、南西部のファン(黄海)南道チャンヨン(長淵)付近から日本海に向けて短距離弾道ミサイル2発を発射したと発表した。
	3月16日 ⑧	16日7時9分頃、平壤近郊から、1発のICBM級弾道ミサイルを、東方向に発射し、約70分飛翔し、8時19分頃、北海道の渡島(おしま)大島の西方約200km、日本海の我が国の排他的経済水域 (EEZ) 外に落下したものと推定。飛翔距離は約1,000km、また最高高度は約6,000kmを超えると推定。
	3月19日 ⑨	19日11時5分頃、北朝鮮西岸付近から、1発の弾道ミサイルを東方向に向けて発射し、最高高度約50km程度で、約800km程度飛翔し、朝鮮半島東側の日本海、我が国の排他的経済水域 (EEZ) 外に落下したと推定。
	3月22日 ⑩	韓国軍によると、北朝鮮は、22日10時15分頃、東部のハムギョン(咸鏡)南道ハムン(咸興)付近から日本海に向けて巡航ミサイル数発を発射した。
	3月27日 ⑪	27日7時台、北朝鮮西岸付近から、2発の弾道ミサイルを北東方向に向けて発射し、朝鮮半島東側の日本海、我が国の排他的経済水域 (EEZ) 外に落下したと推定。 ① 7時47分頃発射し、最高高度約50km程度で、約350km程度飛翔。 ② 7時57分頃発射し、最高高度約50km程度で、約350km程度飛翔。
	4月13日 ⑫	<u>13日7時22分頃、北朝鮮内陸部から少なくとも1発のICBM級の弾道ミサイルの可能性のあるものを、東方向に向けて発射。わが国の領域内への落下やEEZ内への飛来は確認されていない。(防衛大臣会見)</u> <u>なお、7時55分に、「ミサイルが8時00分頃、北海道周辺に落下するものとみされる」旨のJアラートが発表されており、その後、8時16分エムネットで、「北海道及びその周辺への落下の可能性がなくなった」と訂正。</u>

危機管理会議コメント（ミサイル発射）

弾道ミサイル発射直後午前8時現在、「モニタリングポストによる放射線量（空間放射線量率）」の測定結果は、通常範囲であり、発射前から変化なく、本県の大気環境には現在のところ影響はないと考えられる。

引き続き、監視を続け、測定結果に異常値があれば直ちに報告します。

放射線量

空間放射線量率 ($\mu\text{Sv/h}$)	発射前	発射後
	午前7時40分	午前8時
徳島市 徳島保健所屋上	0.040	0.040
鳴門市 鳴門合同庁舎	0.053	0.053
美波町 南部総合県民局美波庁舎	0.049	0.048
三好市 池田総合体育館	0.056	0.056

徳島市：0.067 $\mu\text{Sv/h}$ を超えると対応指針レベルⅡへ移行

対応指針：原子力発電所災害対応指針